

デジタル週案（特別支援学級用）Ver.2.6s 簡易マニュアル

1. デジタル週案(Ver.2.6s)の特徴

特別支援学級では、一人一人のニーズに応じて、同じ教室の中でも別の教科の授業を実施することもあります。従って週案も一人一人に対応して集計することになり、一冊の週案では手に負えなくなります。その煩雑さを解消するために開発したのが、特別支援学級用 Ver.2.6s です。

2. シート「週案」の設計

1週間分の基本枠が準備してあります。その学校に合わせて、形式を修正して下さい、但し、時数集計はD~L列が対象ですし、1人分の列数は9コマ分に変更できません。2行目の項目名は変更可能です。各列幅も変更可能ですが、印刷範囲に収まるように注意して下さい。例えば、D列の朝の活動を行わない学校は非表示にして下さい。同様に、I列も非表示にしてもかまいません、業間の活動がある場合や、7時間目がある学校はそのように変更するとよいでしょう。4人分を同じように作ってください。

3. シート「設定」

このデジタル週案データは1年分の処理ができます。年度・1学期の開始日・最終学期の終了日を西暦で入力します。

「空白週案の作成」ボタンを押すと、1年分の空白週案が、シート「週案」に自動作成されます。日付もその年度のものが自動入力されます。

4. シート「週案」

- セルD~L列の上の行には、教科名を入力します。教科名等は、シート「設定」で定義した教科名を使って下さい。例えば、シート「設定」で「国」と定義すれば、「国」が集計されます。
- 余計な文字、例えば、「理科（体育館）」や「国語 社会」と入力しても、どちらも集計されません。
- 朝、昼休の列に教科名を入れると集計されてしまいます。使わないときは非表示にして下さい。
- 日曜参観等、土日が授業日になる場合は、振替休業日の日にデータを入力して下さい。
この場合、A列の月日データを変えて変更して下さい。（でないと集計されません）
- モニタ画面に丁度1週間分を表示できるように表示倍率と各週の間の空白行の高さを調整すると「PgDn」キーで週移動がしやすくなります。
- プリンタによっては1週間分がA4用紙1枚に収まらない場合があります。印刷倍率で調整して下さい。

5. 移動と印刷

- Ctrl+Z で、移動印刷メニューが開きます。（MS-IMEは半角直接入力の状態）
- 児童を選択して上のテキストボックスに月日を入れ、「画面移動」を押すと、その日に移動します。
- 児童を選択して下のテキストボックスに月日を入れ、「印刷」を押すと、その日を含む週を印刷します。
- 移動&印刷メニューを使って印刷すれば、A列は印刷されません。

6. シート「集計」

- このシートには何も入力する必要がありません。シートを開く度、再計算されます。